

さが弘済会だより

No.52



太良町立多良中学校にて教育文化公演

九州交響楽団による「金管五重奏」アウトリーチコンサート。
一般財団法人教職員互助会と共催して実施しております。

目次

- ② 支部長あいさつ・義援給付奨学生事業案内
- ③ 平成25年度事業報告・役員交代
- ④ 教育実践研究論文募集案内・平成25年度入賞者の紹介
- ⑤ テーブルマナー講習会のご案内
- ⑥ テーブルマナー講習会のお申込み方法
- ⑦ 事業説明会案内・損害保険案内
- ⑧～⑨ ジブラルタ生命教弘担当者紹介
- ⑩ 創立60周年記念事業・事務局お知らせ

- 発行日 平成26年7月22日 第52号
〒849-0916
佐賀市高木瀬町大字東高木227-1
佐賀県教育会館内
TEL 0952-31-4768
FAX 0952-31-4772
e-mail: saga@nikkyoko.or.jp
HPアドレス <http://www8.ocn.ne.jp/~kyoko-sg>
- 編集 公益財団法人
日本教育公務員弘済会佐賀支部
- 発行 株式会社
佐賀教弘



60周年の歴史を紐解く、いま

公益財団法人 日本教育公務員弘済会佐賀支部

支部長 上芝 正子

教職員の皆様には、日頃から大変お世話になっています。皆様におかれましては、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部（以下当会）は、今年7月創立60周年を迎えることになりました。これもひとえに教職員の皆様のご支援・ご指導の賜物と衷心から感謝申し上げる次第です。

さて、2012（平成24）年4月1日に公益財団法人として新しい出発をいたしました日本教育公務員弘済会佐賀支部の歴史を紐解いてみたいと思います。

1953（昭和28）年に、佐賀県のオール教育界のメンバーにより、設立準備委員会が発足し、翌年の7月17日に柳川善光氏が初代理事長に就任し、1956年には、奨学貸付・研究助成金の交付を行っています。1964年に創立10周年を挙行了しました。第2代理事長には、菊池武貞氏が就任し創立20周年を挙行了しました。第3代理事長篠崎規氏の時に県教育会館移転に伴い事務局を現住所に移転しています。1980年には「日教弘」と本支部関係の協定書を調印し、創立30周年を挙行する中で、「日教弘」から「優績県」として表彰を受けています。1987年には第4代北崎稔理事長が就任し、教育研究論文の募集を開始すると同時に「教弘友の会」を設立しました。1994年には教弘創立40周年と財団設立1周年の式典を挙行了しました。1997年第5代理事長には、田中政人氏が就任し、参事制度の導入・児童生徒への文化活動助成を開始しました。2000年10月、協栄生命保険株式会社の破綻により、教弘保険は募集停止となりましたが、2001年にはジブラルタ生命保険株式会社に引き継がれました。

第6代理事長は上芝正子が就任しました。創立50周年を挙行し、研究論文助成では、「柳川善光教育賞」を新設しました。2007年には日教弘会員証を配布し、「日教弘会員のしおり」を発行しました。2011年には東日本大震災の被災者支援のために「義援給付奨学生」制度を発足しました。2012年に内閣府から公益財団法人の認定を受け、今日に至っています。今年、8月には、創立60周年記念式典の挙行の運びとなっています。

このような歴史を辿れば、先達の教育への責任と愛を感じます。今後とも未来を担う子どもたちのために、役職員一同教育現場に寄り添いながら活動を続けてまいる所存でございます。皆様方の変わらぬご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

義 援 給 付 奨 学 生

本会では平成23年3月に発生した東日本大震災により被災された方々への支援として、災害救助法の適用地域に在住されていた方で、やむなく避難生活をしながら学校に通う、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒のみなさんに対して、義援給付奨学生の事業を実施しております。

詳細については、各学校あてに申請書等をお送りしておりますので、そちらをご覧ください。

- 奨学金の額 児童生徒1人につき30,000円
- 申請方法 「義援給付奨学生申請書」により申請してください。
- 申請期間等 平成26年度中、随時受け付けます。義援給付奨学生として決定され次第、奨学金を校長先生まで持参します。

第85回 幹事会・第84回 運営委員会の報告

去る6月19日、「グランデはがくれ」において、公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部
幹事会並びに運営委員会が開催されました。

この中で、平成25年度の事業報告と退任された役員の後任として新役員の選任がなされました。

平成25年度事業のあらまし

奨学事業

●貸与奨学金……………	36名	32,500,000円
●給付奨学金……………	84名	4,200,000円
●義援給付奨学生………	30名	900,000円

教育研究助成事業

●教育実践研究論文助成…	5件	90,000円
●奨励金給付……………	11件	1,300,000円
●教育研究団体助成…	16件	3,250,000円
●教育研究大会助成………	4件	180,000円
●学校研究助成……………	48件	2,400,000円
●花いっぱい事業…	100件	2,000,000円

教育文化事業

●「教育文化公演」助成	1,000,000円
●「図書贈呈事業」助成	2,046,845円

福祉・福利厚生事業

●宿泊補助……………	1,995件	4,013,000円
●結婚祝金……………	76件	380,000円
●誕生祝金……………	107件	535,000円
●入学祝金……………	152件	760,000円
●災害見舞金……………		給付なし
●死亡弔慰金……………	6件	60,000円
●継続祝(5年)……………	163件	479,220円
●継続祝(15年)……………	76件	380,000円
●テーブルマナー講習会	326件	1,630,000円
●友の会旅行補助……………	50件	316,000円

共済事業

●死亡保険金支払額…	32件	135,110,000円
●入院給付金支払額	739件	74,630,000円

役員の交代

推薦団体の役員異動により退任された幹事及び運営委員

副支部長 大西 久孝	運営委員 平田 陽介	運営委員 小森 文彦
幹 事 島 英彰	// 鶴田 英二	// 西村 正弘
// 吉田 功	// 川崎 秀樹	// 香月 桂子
// 藤井 伸幸	// 鶴田 好浩	
// 鈴木 繁	// 今井 昭則	

新たに就任された幹事及び運営委員

副支部長 野中 和納	運営委員 黒木 恵二	運営委員 乗田 徹
幹 事 橋本圭一郎	// 瀬戸 眞樹	// 山口 譲
// 手塚 秀司	// 西牟田智弘	// 尾形日登美
// 武富 太裕	// 原 秀親	
// 染谷 孝	// 松岡 好	

佐賀支部が実施している教育振興事業の審査・選考は下記の方に委嘱しております。

◎審査・選考委員長 佐賀大学教授 平地 一郎氏 ◎審査・選考委員 県立学校教諭 永尾 実氏 公立学校教諭 松本 昌代氏

平成26年度「教育実践研究論文」募集

● テーマ

「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」

● 賞及び助成金

日教弘教育賞

学校・団体部門

最優秀賞

50万円

個人・研究グループ

30万円

柳川善光教育特別賞

佐教弘教育賞

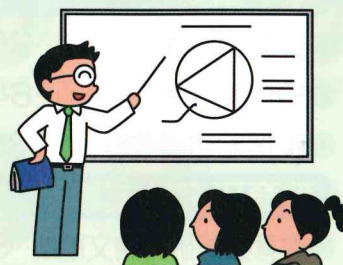
学校・団体部門

6万円

個人・研究グループ

5万円

(以下各賞あり)



● 応募締切

平成26年9月30日(火)

※詳細については、各学校へお送りしている案内文書・教育研究収録をご覧ください。

平成25年度「教育研究論文」入賞者紹介

平成25年度は、学校部門1編、個人部門4編の計5編の応募がありました。

審査・選考委員会において、2編の「日教弘教育賞」推薦と3編の「佐教弘教育賞」の各賞を決定しました。去る平成26年2月27日、「グランデはがくれ」において表彰式を行いました。

なお、入賞作品をまとめた平成25年度佐教弘教育賞教育研究収録及び第19回日教弘教育賞教育研究収録〈第25集〉を各学校へお送りしていますので、ぜひご覧ください。

● 日教弘教育賞奨励賞

○唐津市立加唐小中学校(学校部門)

地域における文化発信拠点としての学校の在り方

○武雄市立若木小学校

栄養教諭 福山 隆志(個人部門)

学校と家庭、地域で子どもを育てる食教育の取り組み



● 佐教弘柳川善光教育特別賞

○江北町立江北小学校

教頭 岩崎 達義(個人部門)

● 佐教弘教育賞

○佐賀県立盲学校中学部

教諭 福田 由美子(個人部門)



後列左
江北小学校
岩崎 達義教頭

中
盲学校
福田由美子教諭
平地選考委員長

右

前列左
加唐小中学校

右
若木小学校
福山 隆志栄養教諭

● 入選

○神崎市立千代田中学校

教諭 衛藤 拓典(個人部門)

テーブルマナー講習会のご案内

マナーの修得とともにおいしい料理でのリフレッシュを目的としております。
お申込みをお待ちしております。

平成26年10月4日(土) 18:00～ 楊柳亭(和食)



（お献立）
先付 南京豆腐 海老 胡瓜
吸物 津蟹汁 えのき茸 なめ茸 葱
造り 鯛 鯉 あしらひ
蓋物 蓮根饅頭 黒芋田楽 人参
法蓮草
替り皿 豚白菜巻味噌煮込み
きのこソースかけ
温の物 蟹入り玉蒸し 春菊あんかけ
酢の物 サーモン博多押し 黄味寿司
蓮根 防風
御飯 じゃこ入り五目飯 香の物
水物 林檎のムース
白ワインジュレ掛け

※楊柳亭専用駐車場は他のお客様ご利用のため、講習会へご参加の方は近くの有料駐車場をご利用ください。

平成26年10月11日(土) 18:00～ シャトー文雅(洋食)

～Menu～

赤パプリカのムースとズワイガニのジュレ ロンド仕立て
海の幸のパイ包み焼き 香草バターソース
浅利と季節野菜のチャウダー風 クリームスープ
甘鯛の帆立貝詰めファルシーブルブランソース
黒毛和牛モモ肉のローストビーフ 温野菜添え
文雅自慢 森の木の子のクリームカレー
バニラのブランマンジェとブラッドオレンジのジュレ
ヨーグルトソルベを浮かべて
コーヒー
自家製の窯出しパン



※料理写真はイメージです。料理内容は変更になる場合がございます。

お申し込み方法については、次のページをご覧ください

佐賀支部現職会員 福祉事業給付基準

- ①1996年（H8年）3月31日以前に教弘保険（52・11）に6口以上加入の方
- ②1996年（H8年）4月1日以降に教弘保険（52・11）に10口以上加入の方

申込み方法のご案内

- ◆ 対 象 ^{※1} 福祉事業給付対象会員とその同伴者1名(2名1組)。
^{※2}
 ※1 5ページの基準を満たされた会員で現職者。
 ※2 同伴者は教職員又はご家族(13歳以上)
 ※3 過去2か年度以内に参加された方を除きます。
- ◆ 参 加 費 お二人で4,000円
- ◆ 定 員 両日100名(50組)
 申込みが定員を上回った場合は、抽選を行います。
- ◆ 申込期限 平成26年8月29日(金)必着
- ◆ 申込方法 ①の方法 往復はがきに下の申込書等を貼り、必要事項を記入にて投函ください。
 ②の方法 ジブラルタ生命保険(株)学校担当LCへご連絡ください。
 なお、お申込みはお一人につき、開催日どちらか1通に限ります。

※参加の可否については9月24日までに { ①の場合 返信はがきで ご連絡いたします。
 ②の場合 担当LCが

万が一参加可否の連絡がない場合は、弘済会事務局までご連絡ください。
 また、当選会員の欠席による代理出席はお受けできませんのでご了承ください。
 (同伴者の交代は可能)

①の方法で申し込む場合《往復はがき使用》

(返信はがき) (往信はがき)

☐ 会員の住所 会員の氏名	参加申込書 貼付け
--	--------------

(往信はがき) (返信はがき)

☐ 申込先宛名 貼付け	空 白
--	--------

※ 下の「申込先宛名」「参加申込書」を点線に沿って切り取り、往信はがきに貼ってご使用ください。
 返信はがきの宛名は「申込会員の住所・氏名」をご記入ください。

(往信はがき) おもて

(往信はがき) うら

〒849-0916

佐賀市高木瀬町東高木227-1
 佐賀県教育会館2F

公益財団法人
 日本教育公務員弘済会
 佐賀支部 行

テーブルマナー講習会 参加申込書

開催日 どちらかに ○印	() 10/4 楊柳亭(和食) () 10/11 シャトー文雅(洋食)
フリガナ 会員名	
勤務校	
フリガナ 同伴者名	
続柄 ○印	教職員・家族 会員のご家族で教職員の方は「家族」を○で囲んでください
※任意 当日連絡先 (携帯電話)	

ご注意ください

過去2か年度以内のテーブルマナー講習会に
 参加された方は、申込みできません。

【個人情報の取扱いについて】

- 1.公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部(以下、「本会」という。)は、適正に取得した個人情報を本会の福祉事業の運営のために利用します。
 - 2.本会の個人情報の取扱いについては、本会ホームページ(<http://www.nikkyoko.or.jp>)をご覧ください。
- お問い合わせ等は、本会へお願いします。

弘済会事業説明会

多くの先生方に本会設立の趣旨及び弘済会事業について、ご理解、ご利用いただくため、「弘済会事業説明会」の実施をお願いしております。

本会事業の根幹である教育振興事業及び福祉事業とその事業資金を生み出す共済事業（提携保険事業）の普及のため、ぜひ説明の機会を設けていただきたくお願い申し上げます。

所要時間は20分程度になります。ご希望の日時等は提携しておりますジブラルタ生命保険の弘済会担当者又は本会事務局までご連絡ください。

詳しくは、各学校へお送りしている案内文書をご覧ください。

教職員の“不安”を“安心”に

※中途加入も随時お受けいたします。

🕒 教職員のみなさま専用の保険

教弘 まなびや スーパープラン

教職員賠償責任保険 + 教職員総合保険

□授業中に生徒がケガ、先生個人に損害賠償請求。

損害賠償金
お見舞金

□生徒を注意したら人格権の侵害と訴訟を起こされる。

争訟費用
損害賠償金

□一方的にババハラだと訴えられる。*

争訟費用

□自転車で他人にケガをさせる。†

損害賠償金

□部活動指導中にケガをする。

治療費

※2 実際にババハラを訴えられた場合は保険金支払の対象となりませんが、ババハラをしていないのに訴えられた場合が対象で、5,000万円が支払限度額となります。

※1 教職員総合保険で自賠責の賠償事故として支払が金のため、5,000万円が支払限度額となります。

平成26年度募集

平成26年8月1日始期
(保険期間1年)
(平成26年8月1日午後4時～平成27年8月1日午後4時)

募集期間 平成26年 6月2日(月)～7月23日(水)

公益財団法人 日本教育公務員弘済会
日本教育公務員弘済会 検索
www.nikkyoko.or.jp

教職員業務中^(※)の賠償責任について補償
(※)教職員総合保険では教育業務をいいます。

- 1 遡及補償** 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
ただし、保険期間の初日より前に提起されていた請求および保険期間の初日において請求がなれるおそれがある状況を被保険者が知っていた場合はお支払い対象外(教職員賠償責任保険)
- 2 延長補償** 教職員をやめた後になされた請求についても**5年間補償** (教職員賠償責任保険)
※ただし、保険期間末日までに脱退された場合を除きます。
- 3 初期対応費用も補償**
身体障害を被った被害者への見舞金等
- 4 争訟費用(弁護士費用等)及び損害賠償金を補償**
対人・対物1億円、その他の事故で5,000万円補償
※「教職員賠償責任保険」からの教職員業務における賠償責任・争訟費用の保険金のお支払は、対人・対物事故に起因するものとそれ以外の事案に起因するものを合算して1請求・保険期間中5,000万円が支払限度額となります。

先生方の「安心」を、しっかり支える保険です。
教職員専用の充実した補償内容です。今すぐ、お申し込みを。
傷害事故については他の生命保険・共済の給付に関係なく、保険金をお支払いします。

加入資格
公益財団法人 日本教育公務員弘済会の会員で、以下に該当する方
1. 公立学校の教職員 2. 国立学校および私立学校の教職員
・校長先生 ・教頭先生 ・教諭・講師^(※1) ・事務職員・用務員
(※1) 養護教諭・栄養教諭等を含みます。
大学の医学部、歯学部、薬学部、看護学校等の医師、歯科医師、看護師、薬剤師の育成を目的とする学校に所属する教職員の方および、教育委員会・教育事務所の職員の方については、加入できません。

このページは、教職員賠償責任保険・教職員総合保険の概要について説明したものです。保険の内容は/ンプレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりませんが、ご不明な点がありましたら代理店または引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社にたずねください。ご加入に際しては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

平成26年3月作成 13-T-13110

教弘まなびやスーパープラン、教弘フルガードのお申し込み・お問い合わせ・資料請求先は

代理店 株式会社 佐賀教弘 TEL0952(31)4772 〒849-0916佐賀市高木瀬町大字東高木227-1
幹事代理店 (株)日教弘/提携・引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 佐賀支店佐賀中央支社 TEL0952-23-1313

教弘学校担当者

ジブラルタ生命保険(株)
LC(ライフプランコンサルタント)の
皆さんです。弘済会各種事業の取り
次ぎをしてもらってます。

佐賀第一支部

TEL0952-26-5410



田代深雪



蒲原民子



熊本美智子



津村むつ子



副島豊子



清末信子



徳吉咲子



木野申也



緒方珠美



立石真紀



諸岡由美



岸川哲也



池田 直



藤田樹一郎



熊本景子



岸川利恵



納富稔之

佐賀第二支部

TEL0952-27-0900



内川寿美子



古川 哲



中村公久



中村厚子



中島宗雄



北島真由美

佐賀第三支部

TEL0952-27-0900



田代恵子



野中順子



補伽玲子



澄川 真



寺戸純子

伊万里支部

TEL0955-23-3449



山北伊津子



川内澄子



古賀里美



吉原ひろ子



丸尾洋子



前田ヨシノ



川内美子



田崎早苗



山崎美紀子



田中輝幸



島田明照



坂井昌子



岩崎亜矢



佐藤真人

唐津支部

TEL0955-72-2291



荒木津子



馬渡早百合



堀 和子



田口景子



荒木恵美



坂口かよ子



藤田俊一



穴澤真司

鹿島第一支部

TEL0954-62-3489



江崎はつ子



樋口由美子



角町広光



野中良平



高柳有司



入来由紀



野中大介



笹沼大幹

鹿島第二支部

TEL0954-62-3764



永尾光正



小林 昇

所長



多田岩樹
(佐賀第一支部)



大坪裕治
(佐賀第二支部)



岡本和晃
(佐賀第三支部)



楠 和憲
(伊万里支部)



松浦好徒
(唐津支部)



林 岳史
(鹿島第一支部)



本村直樹
(鹿島第二支部)

佐賀エリア



支社長
大河 仁



ディレクター
原田耕作



オフィスマネージャー
川上明美



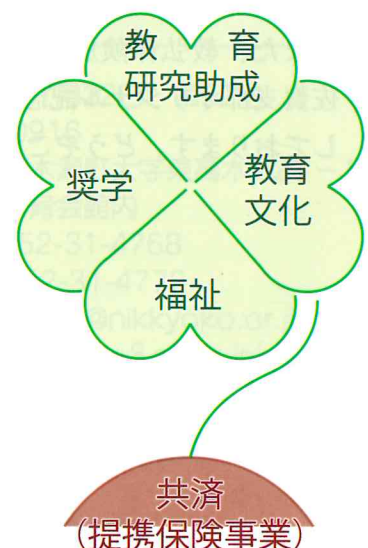
チーフトレーナー
川村孝子

教職員及びそのご家族のための共済事業 (提携保険事業)

弘済会では、教職員やそのご家族の生涯にわたる豊かで健やかな暮らしを支援するための共済事業として、日教弘会員の教職員のみが加入できる「教弘保険」があります。この「教弘保険」から教育の振興に寄与する弘済会各種事業の事業資金が生み出されています。

共済事業の運営に当たってはジブラルタ生命保険株式会社と提携することにより安心で安全な運営を実現しています。

ぜひ、この機会にジブラルタ生命保険教弘担当LC(ライフプラン・コンサルタント)へご相談ください。



おかげさまで、創立60周年を 迎えることができました

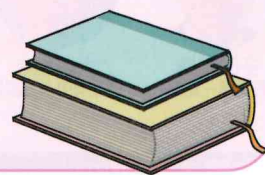
本年度、公益財団法人日本教育公務員弘済会佐賀支部は創立60周年を迎えます。

教育関係者及び教弘保険にご加入いただいている皆さまには、これまでのご支援に対し心から感謝を申し上げます。

そこで、記念事業として次の事業を展開しております。先生方の教育研究や児童・生徒のみなさんへの教育活動等のお役に立てれば幸いです。

○図書贈呈事業

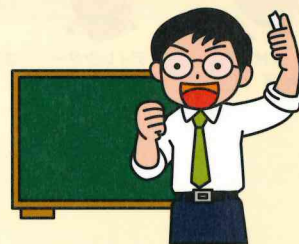
- 対象 県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校
- 贈呈額 1校 3万円
- 贈呈 贈呈が決定した学校へ7～9月に希望の図書をお届けします



○講師・指導者招へい助成事業

- 対象 県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校
- 助成額 1校 5～10万円
- 助成件数 100校程度
- 助成 助成が決定した学校へ7～9月に助成金をお届けします。

※追伸 今回未申請の学校について、2次募集を行います。
詳しくは各学校へお送りする募集要項をご覧ください。



また、教弘保険加入者の皆さまにはこれまでの感謝の気持ちを込めて、佐賀支部オリジナル記念品の「ペーパーウェイト」を学校担当者がお届けしております。どうぞご利用ください。



お届けしましたのは

支部

です。